

# CDP 2017 サプライチェーン ウォーター質問書 (日本語仮訳)

より多くの国際的企業とそのサプライヤー企業が、CDPを利用して持続可能なサプライチェーン運営を実現しようとしています。国際的企業とそのサプライヤー企業は、CDPサプライチェーンプログラムを通じて、気候変動が国際的なサプライチェーンの枠組みにもたらす大きなリスクを管理しています。

以下は、CDP 2016 サプライチェーン ウォーター質問書です。CDPウェブサイトのオンライン回答システム(ORS)より質問にご回答ください。ORSでは、ドロップダウンメニューや表形式を用いて回答がしやすいようになっているため、本質問書とは質問の表示形式が異なる場合がありますが、質問の内容は同じです。2016年12月よりCDPウェブサイトに掲載される回答ガイダンスには、選択形式の質問の各選択肢についての解説やORSのスクリーンショットが含まれていますので、回答の際に参考にしてください。

質問書への回答の締切は、2017年7月31日です。

質問には、オンライン回答システム(ORS)よりご回答ください。ORSは、CDP 2017の気候変動質問書やフォレスト質問書と同じものを用いています。ORSへのアクセス方法は、2017年2月初旬にE-mailでご案内いたします。ORSよりご回答いただけない場合は、[respond@cdp.net](mailto:respond@cdp.net)(英語)、または[japan@cdp.net](mailto:japan@cdp.net)(日本語)までご連絡ください。

ご回答の際には、CDP 2017 回答ガイダンス(<https://www.cdp.net/en/guidance>)とORS内のガイダンスをご覧ください。質問には、可能な限り包括的にご回答ください。CDPの署名機関は、企業が自らの直面している水リスクを認識し、より大きな戦略的なメリットを認識し、包括的なリスク削減戦略の構築に取り組んでいるということについての確信を得ることを目的として、このような情報を求めています。完全な回答をすることが難しいと思われる質問についても、無回答とするのではなく、把握されている情報の範囲内でご回答ください。

なお、2016年質問書から2017年質問書になって変更された点については、その質問の後にその旨記載しております。

注: 本書は CDP2017 ウォーター質問書の日本語仮訳となります。英語の質問書に変更があった場合、なるべく早く本書にも反映させるように努力致しますが、英語版の情報を正式なものとしてお取り扱い頂こう、お願い致します。

## CDP 質問書の著作権及び使用許諾について:

CDP 質問書の著作権は、英国公認チャリティ団体(No.1122330)であり英国内の保証有限会社(No.05013650)である CDP Worldwide に帰属します。質問書の一部または全部の使用には、CDPによる使用許諾が必要となります。無許可での使用は禁じられており、CDPは著作権保護のためのあらゆる法的措置をとる権利を留保します。

使用許諾および使用料の詳細については、[license@cdp.net](mailto:license@cdp.net)までご連絡ください。

## イントロダクション

### W0. イントロダクション

W0.1 貴社の概要についてご記入ください。

W0.2 データの報告年の開始日と終了日をご記入ください。

報告年	

W0.3 水に関連するインパクトの報告の対象とした会社、事業体またはグループの報告範囲(バウンダリ)として該当するカテゴリをご回答ください。

報告範囲(バウンダリ)

W0.4 この報告範囲(バウンダリ)の中で、情報開示において除外される地域、施設または取水／排水の種類がありますか？

除外されるもの	除外する理由についての説明

## 現在の状況

### W1. 背景

W1.1 貴社が成功するために、水の質と量はどの程度重要ですか？重要度（現在と将来について）を評価してください。

水の質と量	直接的な使用における重要度評価	間接的な使用における重要度評価	説明

W1.1の「直接的な使用における重要度評価」で、淡水または半塩水のいずれかについて「どちらともいえない」、「重要である」、「操業に不可欠である」と回答した場合には、「全社的な水使用データ」の質問が表示されます。

W1.1の「間接的な使用における重要度評価」で、淡水または半塩水のいずれかについて「どちらともいえない」、「重要である」、「操業に不可欠である」と回答した場合には、「サプライヤーによる報告」の質問が表示されます。

### W1. 全社的な水データ

W1.1の「直接的な使用における重要度評価」で、淡水または半塩水のいずれかについて「どちらともいえない」、「重要である」、「操業に不可欠である」と回答した場合にのみ、以下の質問が表示されます。

W1.2 貴社の操業全体について、水に関する以下の側面のうちどの側面について定期的に測定およびモニタリングを実施しているかご説明ください。また、実施している理由または実施していない理由についてもご説明ください。

水に関する側面	事業所／施設／操業の割合 (%)	説明

W1.2a 取水量：貴社の操業全体における報告年の取水量に関するデータを水源ごとにご回答ください。

取水源	水量(百万L/年)	当該取水源からの総取水量の前報告年との比較	コメント

## 現在の状況

W1.2b 排水量: 報告年について、貴社の操業全体の総排水量に関するデータを排水の放流先別にご記入ください。

放流先	水量(百万L/年)	当該放流先への総排水量の 前報告年との比較	コメント

W1.2c 水消費量: 報告年について、貴社の操業全体の水の総消費量に関するデータをご記入ください。

消費量(百万L/年)	前報告年の消費量との比較	コメント

### W1. サプライヤーの報告

の「間接的な使用における重要度評価」で、淡水または半塩水のいずれかについて「どちらともいえない」、「重要である」と回答した場合にのみ、以下の質問が表示されます。

W1.3 貴社ではサプライヤーに対して水の使用量、リスク及び/または管理について報告することを求めていますか？

「はい」と回答した場合

W1.3a どの程度の比率の主要なサプライヤーに対して水の使用量、リスク及び/または管理について報告することを求めていますか？また、それは貴社の調達費に対してどの程度の比率を占めていますか？

サプライヤーの比率(%)	調達費全体に占める比率(%)	比率の根拠

「いいえ」と回答した場合

W1.3b 貴社のサプライヤーに対して水の使用量、リスク及び/または管理について報告することを求めていない理由として最も当てはまるものを選択してください。

主な理由	説明

## 現在の状況

### W1. 事業への影響

W1.4 報告年において、水に関連する問題が貴社に対して悪影響を及ぼしたことはありましたか？

「ある」と回答した場合

W1.4a 報告年において、貴社に対して悪影響を及ぼした水に関連する問題についてご説明ください。

国名	河川流域	影響要因	影響	影響についての説明	影響が及んだ期間	財務面への総合的な影響	対応戦略	対応戦略の説明

「わからない」と回答した場合

W1.4b 報告年において、水に関連する問題が貴社に対して悪影響を及ぼしたことがあったかどうかについて「わからない」と回答した理由として最も当てはまるものを下の選択肢より選択し、将来的にこの問題について検討する計画があればそれについてご説明ください。

主な理由	将来の計画

## リスク評価

### W2. 手順及び要件

W2.1 貴社では水関連リスクについて評価を実施していますか？

- 水リスク評価を実施している
- 水リスク評価を実施していない

「水リスク評価を実施している」と回答した場合、W2.2 – W2.7 の質問にご回答ください。「水リスク評価を実施していない」と回答した場合は、W2.8 の質問にご回答ください。

W2.2 水リスク評価に関する手順の説明として最も当てはまるものを選択してください。

リスク評価の手順	対象範囲	規模	説明

W2.3 水リスク評価はどれくらいの頻度で、どのような地理的規模で、またどの程度先のリスクまで考慮して実施していますか？

頻度	地理的規模	考慮する期間	コメント

W2.4 水リスクが貴社の成長戦略の成功(実現性、制約)にとってどのように影響するか、あるいは影響し得るかについて評価したことがありますか？

- はい、今後 1 年間についての評価を行った
- はい、今後 5 年間についての評価を行った
- はい、今後 10 年間についての評価を行った
- いいえ、評価を行っていない
- その他

「はい」と回答した場合、「その他」と回答した場合

W2.4a 水リスクが貴社の成長戦略の成功(実現性、制約)にとってどのように影響するか、あるいは影響し得るかについての評価はどのように行いましたか？[自由回答:2400 文字以内]

「いいえ、評価を行っていない」と回答した場合

W2.4b 水リスクが貴社の成長戦略の成功(実現性、制約)にとってどのように影響するか、あるいは影響し得るかについて評価したことがない主な理由は何ですか？また、将来的に評価を実施する計画はありますか？

主な理由	現在の計画	評価実施時期	コメント

W2.5 水リスク評価に用いる方法を選択してください。

方法	貴社のリスク評価においてその方法がどのように用いられているかご説明ください。

## リスク評価

W2.6 次のイシューのうち、貴社が水リスク評価を行う際に常に評価の要素として考慮するものはどれですか？

イシュー	選択肢	説明

W2.7 次のステークホルダーのうち、貴社が水リスク評価を行う際に常に評価の要素として考慮するのはどれですか？

ステークホルダー	選択肢	説明
	•	

「水リスク評価を実施していない」と回答した場合

W2.8 貴社が水関連リスクについて評価を実施していない理由として最も当てはまるものを選択してください。

主な理由	説明

## 影響

### W3. 水リスク

W3.1 貴社は、現在及び／または将来的に見て、貴社のビジネス、操業、収益または費用に実質的な変化をもたらす可能性のある水リスクにさらされていますか？

W3.2 貴社では、貴社のビジネス、操業、収益または費用における実質的な変化とはどのようなものとお考えですか？詳しくご説明ください。[自由回答:2400文字以内]

質問 3.1 で「はい(直接の操業及びサプライチェーン)」または「はい(直接の操業のみ)」と回答した場合のみ、質問 3.2a および W3.2b が表示されます。

W3.2a 直接の操業を行っている施設 (facilities)<sup>1</sup>のうち、貴社のビジネス、操業、収益または費用に実質的な変化をもたらす可能性のある水リスクにさらされている施設の数について流域ごとにご回答ください。また、これによって影響を受ける全社的な施設の割合もご回答ください。

国	河川流域	水リスクにさらされている施設数	流域内で影響を受けるものが操業全体に対して占める割合 (%)	コメント

W3.2b W3.2a で挙げた各流域について、企業の財務的価値全体のうちどの程度の割合が影響を受ける可能性があるか水リスク単位でご記入ください。

国	河川流域	財務報告指標	選択した指標について流域内で影響を受ける割合 (%)	コメント

<sup>1</sup>「施設 (facilities)」という言葉は、建物や工場以外にもその他の種類の事業活動を幅広く示すのにも用いられる場合があります。貴社が「施設 (facilities)」をどのように定義しているかについてコメント欄にご記入ください。さらに詳細については、2017 ウォーター質問書ガイダンスを参照してください。

## 影響

W3.1 で「はい(直接の操業及びサプライチェーン)」または「はい(直接の操業のみ)」と回答した場合のみ、W3.2c が表示されます。

W3.2c 貴社のビジネス、操業、収益または費用に実質的な変化をもたらす可能性のある固有の水リスク、貴社の直接の操業に対する潜在的な影響及びそれらを軽減するための戦略についてご記入ください。

国	河川流域	リスク要因	潜在的な影響	潜在的な影響についての説明	期間	影響が及ぶ可能性	潜在的な財務上の影響の程度	対応戦略	戦略にかかるコスト	戦略の詳細及びコスト

「はい(直接の操業及びサプライチェーン)」と回答した場合、「はい(サプライチェーンのみ)」と回答した場合

W3.2d 貴社のビジネス、操業、収益または費用に実質的な変化をもたらす可能性のある固有の水リスク、貴社のサプライチェーンに対する潜在的な影響及びそれらを軽減するための戦略についてご記入ください。

国	河川流域	リスク要因	潜在的な影響	潜在的な影響についての説明	期間	影響が及ぶ可能性	潜在的な財務上の影響の程度	対応戦略	戦略にかかるコスト	戦略の詳細及びコスト

「いいえ」と回答した場合、「はい(サプライチェーンのみ)」と回答した場合

W3.2e 直接の操業について、ビジネス、操業、収益または費用に実質的な変化をもたらす可能性のある水リスクに貴社がさらされていると思わない理由として最も当てはまるものを選択してください。

主な理由	説明

## 影響

「いいえ」と回答した場合、「はい(直接の操業のみ)」と回答した場合

W3.2f サプライチェーンについて、ビジネス、操業、収益または費用に実質的な変化をもたらす可能性のある水リスクに貴社がさらされていると思わない理由として最も当てはまるものを選択してください。

主な理由	説明

「わからない」と回答した場合

W3.2g ビジネス、操業、収益または費用に実質的な変化をもたらす可能性のある水リスクに貴社がさらされているかどうかについてわからない理由として最も当てはまるものを選択し、将来的にこの問題について評価を行う計画があればそれについてご説明ください。

主な理由	将来の計画

## 影響

## W4. 水に関連する機会

W4.1 水は、実質的な利益となる／利益となる可能性のある戦略上の機会、事業上の機会または市場機会を貴社にもたらしますか？

「はい」と回答した場合

W4.1a 水によって貴社にもたらされる機会とその機会を実現するための戦略についてご説明ください。

国または地域	機会	機会実現のための戦略	予想される時期	説明

「いいえ」と回答した場合

W4.1b 水が貴社にとって実質的な利益となる可能性のある機会をもたらさない理由として最も当てはまるものを選択してください。

主な理由	説明

「わからない」と回答した場合

W4.1c 水が貴社にとって実質的な利益となる可能性のある機会をもたらすかどうか分からない理由として最も当てはまるものを選択してください。

主な理由	説明

## 施設レベルの水データ

W3.1 で「はい(直接の操業及びサプライチェーン)」または「はい(直接の操業のみ)」と回答した場合のみ、「施設レベルの水データ」セクションが表示されます。この水データは W3.2a でリスクがさらされていると回答した施設についてご回答ください。

### W5. 施設レベルの水データ

W5.1 取水量: 報告年について、W3.2a の回答に含まれる施設全ての取水量に関するデータを下の表にご記入ください。

施設番号	国	河川流域	施設名	当該施設における総取水量(百万 L/年)	当該施設における前報告年の総取水量との比較	大きな変化があった場合にはそれについてご説明ください

W5.1a 取水量: 報告年について、W5.1 で回答した施設全ての取水量に関するデータ\*を利用している水源別にご記入ください。

施設番号	地表水	半塩水 (brackish water) / 塩水	雨水	地下水(再生可能)	地下水(再生不可能)	油汚濁水 / プロセス水	市水	他の組織からの排水	コメント

## 施設レベルの水データ

W5.2 排水量: 報告年について、W3.2a で回答した施設全ての排水量に関するデータ\*をご記入ください。

施設番号	当該施設における総排水量(百万 L/年)	当該施設における前報告期間の総排水量との比較	大きな変化があった場合にはそれについてご説明ください

W5.2a 排水: 報告年について、W5.2 で回答した施設全ての排水量に関するデータ\*を排水の放流先別にご記入ください。

施設番号	河川・湖沼	下水道	海	地下水	他の組織への排水	コメント

W5.3 水消費量: 報告年について、W3.2a で回答した施設全ての水消費量に関するデータ\*をご記入ください。

施設番号	消費量(百万 L/年)	前の報告期間との比較	大きな変化があった場合にはそれについてご説明ください

W5.4 W3.2a で回答した施設全てについて、外部の検証を受けている水使用データの割合はどの程度ですか？

水に関する側面	検証を受けている割合(%)	使用されている基準

## 対応

### W6. ガバナンス及び戦略

W6.1 貴社において、水に関して最高レベルの直接的な責任を負っているのは誰ですか？また、その責任者に対する報告はどの程度の頻度で行われていますか？

水の問題に関する最高レベルの直接的な責任者	水の問題に関する報告の頻度	コメント

W6.2 水の管理は、ビジネス戦略に組み込まれていますか？

「はい」と回答した場合

W6.2a 貴社のビジネス戦略に対して水がどのようなプラスの影響を及ぼしたかについて、最も当てはまるものを下の選択肢から選択してください。（複数選択可）

ビジネス戦略に対する水の影響	説明

W6.2b 貴社のビジネス戦略に対して水がどのようなマイナスの影響を及ぼしたかについて、最も当てはまるものを下の選択肢から選択してください。（複数選択可）

ビジネス戦略に対する水の影響	説明

「いいえ」と回答した場合

W6.2c 貴社が水の管理をビジネス戦略に組み込んでいない理由として最も当てはまるものを選択し、将来的にビジネス戦略に組み込む計画があればそれについてご説明ください。

主な理由	説明

W6.3 貴社には、明確なゴール及び行動指針を定めた水に関する方針がありますか？

「はい」と回答した場合

W6.3a 貴社の水に関する方針の内容を最もよく表しているものを選択してください。（該当するもの全てにチェックを入れてください）

内容	その内容を方針に含めた理由

## 対応

W6.4 直近の報告年における貴社の水に関連する設備投資(CAPEX)及び操業費(OPEX)は、その前の報告年と比較してどのようになっていますか？

水に関連する CAPEX 増減比(+/-%)	水に関連する OPEX の増減比(+/-%)	これらの変化の動機

## 対応

### W7. コンプライアンス

W7.1 報告年において、貴社が取水許可、排水許可またはその他の水及び排水に関する規制に対する違反により罰則、罰金及び／または強制命令の対象となったことはありましたか？

「はい」と回答した場合

W7.1a 取水許可、排水許可またはその他の水及び排水に関する規制に対する違反による罰則、罰金及び／または強制命令と、それらの違反を解決するための計画についてご説明ください。

施設名	事例	違反事例の説明	報告年における発生回数	財政上の影響	通貨	解決策

W7.1b W7.1a で挙げた事例と関係のあった施設／操業が貴社の施設／操業全体に占める割合は何パーセントですか？

W7.1c W7.1 で挙げられた全ての事例による財務上の影響の総額が、報告年の操業費(OPEX)の総額に対して占める割合をご記入ください。また、その割合は前報告年と比較してどのようになっていますか？

影響	前報告年からの変化

## 対応

### W8. 目標およびイニシアチブ

W8.1 貴社には、水に関して全社的な目標(定量的)またはゴール(定性的)がありますか？

質問 W8.1 で「はい(目標とゴールの両方)」または「はい(目標のみ)」と回答した場合のみ、質問 W8.1a が表示されます。

W8.1a 定量的目標(継続中のものまたは報告年中に完了したもの)について下表に記入し、進捗についてご回答ください。

目標の分類	動機	目標についての説明	評価の定量単位	基準年	目標年	目標の達成割合(%)

質問 W8.1 で「はい(目標とゴールの両方)」または「はい(ゴールのみ)」と回答した場合のみ、質問 W8.1b が表示されます。

W8.1b 全社的な定性的ゴール(継続中のものまたは報告年中に完了したもの)について下表に記入し、進捗についてご回答ください。

目的	動機	目的の説明	進捗

質問 W8.1 で「いいえ」と回答した場合のみ、質問 W8.1c が表示されます。

W8.1c 水に関して全社的な目標またはゴールがない理由を説明し、将来的にそれらを策定する計画があればそれについてご説明ください。[自由回答: 1500 文字以内]

## 相関・トレードオフ関係

### W9. 水とその他の環境問題との間のトレードオフ関係の調整

W9.1 貴社のバリューチェーンにおいて、水とその他の環境問題との間に相関関係またはトレードオフ関係は確認されていますか？

「はい」と回答した場合

W9.1a 確認された相関関係またはトレードオフ関係とそれに関連する管理方針または対応策についてご説明ください。

環境問題	相関関係またはトレードオフ関係	方針または対応策

## 承認

W10.1 本 CDP ウォーター質問書への回答内容を承認する署名をした(承認した)方に関する情報をご記入ください。

氏名	職位	該当する職種

W10.2 御社が回答を公表している場合、一部の回答内容をCEO Water Mandate Water Action Hub (WAH) にCDPが共有しても良いかどうか、明らかにしてください。

注: W1.4a(影響に対する回答)とW3.2cおよびd(リスクに対する回答)に対する回答のみが共有され、WAH WEBサイトに掲載できるような協働プロジェクトであるかどうか検討されます。

「はい」と選択することで、CDPが御社の登録したご担当者のEメールアドレスもCEO Water Mandateに共有されることに同意するものとします。これによって、御社が事業を運営している地域の水資源を使用している他の当事者にとって潜在的に興味深いプロジェクトを回答データが含む場合、WAH管理者は御社に注意を促すことができます。WAHは、関連する連絡先詳細とともにプロジェクトを公開します。御社には、プロジェクトのプロファイルと連絡先詳細を変更できるようにする安全なログインアカウントが提供されます。

## サプライチェーン ウォーター モジュール

### SW1. 水リスクにさらされている施設

SW1.1 W3.2aにて報告している施設について質問です。それら施設が受けている水に関連する影響が顧客にも影響を及ぼしているような場合があれば記入してください。

施設選択	情報開示要求企業を選択	コメント
	情報開示要求企業名	

### SW1.2 施設の地理的データをご提供頂けますか。(2017 新規質問)

「はい」の場合:SW1.2a エクセルのテンプレートで回答してください。

SW1.2b SW1.2aで記載した施設に関する売上比率はいくらですか。

### SW2. 協力の機会について

SW2.1 下表を用いて、どの CDP サプライチェーンメンバー企業とどのような水関連プロジェクト、または水リスクにさらされている施設のリスクを減らすようなプロジェクトができるかの提案を行ってみてください。

この表(SW2.1)については、第1列にて御社が選んだメンバー企業(“情報開示要求を出しているメンバー企業を選んでください”)のみが、関連する情報を見ることができるよう設定しております。メンバー企業を選ばずに回答した場合には、どの企業にも情報が開示されないのでご注意ください。

メンバー企業選択	目的	プロジェクトのタイプ	プロジェクトが完了すると想定される時期	プロジェクトの成果	金銭的メリット	プロジェクトの詳細
メンバー企業名						

### SW2.2 情報開示要求を出しているメンバー企業との協働にて行っている水に関連するプロジェクトはありますか？

「はい」の場合:SW2.2a 協働の水プロジェクトを実施しているメンバー企業(情報開示要求を出している企業)を選んでください。

プロジェクトを推進しているメンバー企業名(複数可)を選んでください。	プロジェクトの内容	本プロジェクトの実施について、どの程度進んでいますか。
メンバー企業名		

## サプライチェーン ウォーター モジュール

### SW3. 製品の水集約度(原単位)

SW3.1 報告期間について、御社(御組織)の製品やサービスについて、何らかの水集約度(水消費量を製品やサービスの単位で割った原単位)があれば教えてください。

国	河川流域	製品名	製品の単位(個、m <sup>3</sup> , リットル等)	水の単位	水集約度(水単位/製品単位)	水消費のタイプ	コメント